

米生産者の皆様へ

主食用米からの転換の協力について

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年以上に主食用米の需要は減少しており、全国の民間在庫量が大幅に増加しています。

このまま在庫が増加すると、さらなる米価の下落が懸念されます。

令和3年産の作付におきましては、より一層、飼料用米等への転換が必要ですので、ご協力をお願いいたします。

すでに営農計画書を提出された方につきましても、さらに作付転換にご協力いただける方は、計画書の変更が可能ですので、至急、市再生協議会事務局か、最寄りのJA営農経済センターへご連絡ください。

宇都宮市農業再生協議事務局	TEL	632-2458
JAうつのみや		
北部営農経済センター	TEL	665-0550
西部営農経済センター	TEL	658-6565
南部営農経済センター	TEL	656-8484
東部営農経済センター	TEL	660-3535
上河内営農経済センター	TEL	674-2164
河内営農経済センター	TEL	673-6911

裏面もご覧ください⇒

緊急水田農業情報（令和3年5月）



全国の主食用米の在庫量は大幅に増えています。また米の取引価格も昨年より安くなっています！
飼料用米への転換に取り組みましょう！！



◆主食用米の作付上位 10 道県の民間在庫の状況

単位：玄米万トン

県名	令和2年2月 ①	令和3年2月 ②	対前年同月差 ②-①
北海道	27.9	34.1	+ 6.1
山形	14.9	20.6	+ 5.7
宮城	15.5	18.4	+ 2.9
栃木	13.0	15.4	+ 2.5
新潟	22.4	24.3	+ 2.0
岩手	12.6	14.3	+ 1.6
茨城	9.7	11.5	+ 1.8
秋田	22.1	23.8	+ 1.7
千葉	6.8	8.0	+ 1.2
福島	19.9	19.0	△ 0.9
全国計	266.0	294.0	+ 28.0

農林水産省「米穀の取引に関する報告」

栃木県の令和3年2月時点での米の民間在庫量は、中食・外食などの業務需要の割合が高いことから、前年と比べて増加しています。

◆本県産の品種銘柄別の相対取引価格（3月時点）

単位：円/玄米 60kg（税込）

品種銘柄	令和2年産 ② (出回り～R3年3月)	令和元年産 ① (出回り～R2年10月)	価格差 ②-①
コシヒカリ	14,457	15,576	▲ 1,119
あさひの夢	13,021	14,806	▲ 1,785
とちぎの星	13,484	14,927	▲ 1,443
全国全銘柄平均	14,878	15,716	▲ 838

農林水産省調べ

本県産の令和2年産の品種別の相対取引価格は、令和元年産と比べ、いずれの品種銘柄も1,000円以上安くなっています。

このまま在庫が積み上がると需給バランスが崩れ、更なる米価下落が懸念されます。令和3年産の米の作付にあたっては、作付参考値を目安として、需要に応じた適切な主食用米の生産が行われるよう、飼料用米への作付転換に取り組みましょう。